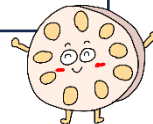




○経営方針 あいさつとありがとうで あったかい学校に

～ 子どもと向き合い、家庭に寄り添い、地域とともにある学校をめざして ～

【スローガン】「大好きな学校に・大好きな家庭に・大好きな地域に」



雨ニモマケズ…夏ノ暑サニモマケヌ

梅雨に入り、じめじめとしたうっとうしい日が続いたかと思えば、連日30度を超える猛暑と移り変わりの激しい天候に振り回されていますが、体育では水泳の学習も始まり、子どもたちは毎日元気に学校生活を送っています。

とはいえ、今は暑すぎても外で遊べない時代。暑さ指数が31を超えると、運動場に赤い旗が立ち、外遊び禁止となります。晴れていても遊べない、そんなもどかしい気分を晴らすべく、委員会の子どもたちが様々な企画で盛り上げてくれています。



図書委員会による読み聞かせ



体育委員会によるボールペンゴ



保健委員会による噛む力の実験

子どもたちは、様々な遊びを通して人と関わり、ルールやマナー、人との接し方を学び、社会性を身に付けていきます。当然その過程では、仲間とのトラブルや仲違いによって、人間関係がギクシャクするといった状況が起こります。しかし、子どもたちは、その時々で教師や大人の力を借りつつ、自身の非を認めて仲直りをしたり、言動を改めたりと折り合いをつけながら、集団の中で自己の存在を確立していきます。

川の石と石がぶつかり、転がりながら丸くなっていくように、子どもたちには、遊びを通じて自分を磨き、協働して生きる大切さを体得してほしいと願っています。

6月の『陽だまり』



朝の交通指導時に「いつもありがとうございます」と声をかけてくれる子、立ち止まってお辞儀をしてくれる子、登校中や休み時間に摘んだ花をくれる子、ゴミ拾いや草取りを手伝ってくれる子、愛宕小には、素直で温かい心を持った素敵な子どもたちが、笑顔の花を咲かせてくれています。

毎月2回、1日と15日に地域と保護者の方が、子どもたちといっしょにあいさつ運動をしてくださっています。

学校近くの2カ所の交差点で、登校する子どもたちに声をかけてくださるおかげで、子どもたちも地域に見守られ、育てられているという意識が芽生えています。

